

長野県聴覚障がい者 情報センターだより

2020.2

No.
52

発行：長野県聴覚障がい者情報センター

〒381-0008 長野県長野市下駒沢586 サンアップル2階 Fax 026-295-3567 Tel 026-295-3530
http://www.nagano-choujou.com E-mail : info@nagano-choujou.com

特集 映像のバリアフリーとは？

テレビ番組やインターネット動画の映像は、見ていてとても楽しいものですが、聴覚障がい者にとってナレーションや音楽、登場人物の話し声や音がきこえないと映像だけでは、内容の理解ができません。映像だけでなく、文字テロップや字幕、手話通訳を入れるなどの工夫で聴覚障がい者にもわかりやすい映像をつくるのが大切となっています。

長野県聴覚障がい者情報センターでは、映像に字幕や手話通訳を付ける業務も行っています。では、この映像のバリアフリーについて考えてみましょう。



テロップだけでわかる？

もし、普段見ているテレビ番組・映画から音声が消えたらどうでしょうか？映像だけで内容がわかりますか？

テレビ番組、特にバラエティー番組にはテロップ（文字）が多く入っていますが、すべての音声を文字で説明しているわけではありません。

家族や友人と一緒にテレビを見ているとき、自分だけ内容がわからず話についていけない・・・学校で昨日のテレビ番組の話が話題になっても、番組に字幕がついていなかったから話に入れなかった・・・という聴覚障がい者ならだれもが感じることです。テレビ番組に字幕があると内容もわかって楽しむことができます。

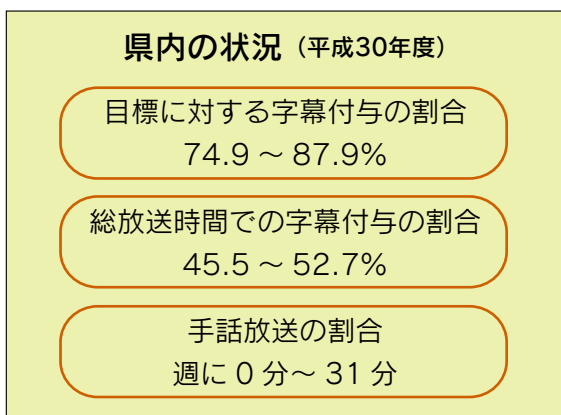
字幕や手話が付いているテレビ番組ってどのくらい？

テレビ番組の放送局にはNHKと民放があります。そして民放には全国放送をするキー局と県内などその地域だけで放送するローカル局があります。長野県には、長野放送、信越放送、テレビ信州、長野朝日放送の放送局があり、これらはすべてローカル局です。県内で視聴できる番組には、2種類あり、全国放送の番組(キー局制作番組)と主に県内のみの放送番組(ローカル局独自制作の番組)です。

NHK	
民放	キー局→全国放送の番組 (日本テレビ・テレビ朝日・TBSテレビ・テレビ東京・フジテレビ)
	ローカル局→県内のみの放送番組 (長野放送・信越放送・テレビ信州・長野朝日放送)

テレビ放送を所管する総務省では、字幕放送等の放送時間を増やす取り組みを進めています。「放送分野における情報アクセシビリティに関する指針(平成30年度策定)」によるとローカル局は2027年(令和9年)度までに字幕付与可能なすべての放送番組の80%以上に字幕を付与するとしています。

また、手話放送に関してはNHK及びキー局で2027年(令和9年)度までに平均1週間に15分以上手話を付与することと定められています。



県内の状況は

では県内の状況はどのようなのでしょうか？長野県内のローカル局では、平成30年度の実績では、74.9~87.9%の字幕付与(総務省ホームページより)となっています。

この数字をみると多くの番組に字幕がついているような印象がありますが、実は「字幕付与が可能な番組」に字幕放送をした割合なのです。

つまり、朝6時から夜1時までの間で、①技術的に字幕をつけられないもの(複数人が同時に発言するような生番組など)②外国語の番組③大部分が器楽演奏などの音楽番組④権利処理上の理由等で字幕をつけられないものを除いた放送

時間に字幕放送をした割合が、先ほどの数字となっているのです(「放送分野における情報アクセシビリティに関する指針」総務省平成30年2月7日策定より)。

ですから、先ほどの県内ローカル局の字幕付与の割合を、総放送時間でみると45.5~52.7%とぐっと下がってしまいます。特に、ニュース番組など生番組には字幕がついていないように感じます。

ローカル局の課題

ローカル局は予算や人員の面で制作の体制が厳しく、なかなか字幕を付けることが難しいようです。

最近ではテロップを多用し、できるだけわかりやすい番組制作となるよう配慮しています。

また、手話ワイブを挿入した番組の放送時間になると、県内の各局とも週に0分~31分と非常に少ない状況です。



(手話ワイブの例)

コマーシャルにも字幕がある？

テレビ番組だけではなく、CM(コマーシャル)でも字幕をつけようとする動きが始まっています。時々、CMの画面に、**字幕**の表示があるのにお気づきでしょうか。

CMに字幕がついたのは、平成22年からですが、まだまだ認知度は低く、本数も少ないです。テレビ番組を視聴している人に呼び掛けるコマーシャル。視聴者の中には聴覚障がい者もたくさんいることを考えると、コマーシャルにも字幕がつくことも今後増えることを期待したいですね。

字幕付きCMを放送している番組リストはホームページで見ることができます。

日本民間放送連盟 <https://j-ba.or.jp/category/broadcasting/jba101840>

テレビを字幕付きで見するには

新聞のテレビ欄やテレビの番組表に「文」または「字」のマークがある番組には字幕がついています。

では字幕放送を見るにはどうしたらよいのでしょうか？

テレビのリモコンに字幕のボタンがあるものはボタンを押すと表示されます。リモコンに字幕ボタンがついていない場合は、リモコンの機能メニューから、字幕表示のオン・オフの設定ができます。

字幕付きCMについても同様にリモコンの字幕ボタンを押すと表示されます。



ホテルや旅館のテレビにはご注意を



ホテルや旅館の客室のテレビには、字幕のボタンがないリモコンしか置いていない場合がしばしばあります。これは、ホテルによっては、館内案内をテレビで独自に放送したり、有料視聴番組を設定したりする関係で、ホテル独自のリモコンを設置していることが理由といわれています。

このホテル独自のテレビリモコンでは、字幕ボタンがなかったり、字幕機能呼び出すメニュー操作ができないため、せっかくの字幕放送番組も字幕を表示させることができません。

ホテルや旅館によっては、フロントで字幕設定ができるように対応していただける場合もありますので、フロントに問い合わせるとよいでしょう。

しかしながら、いつでもどこでも字幕を見ることができる環境にしてほしいですね。

洋画の字幕と聴覚障がい者用の字幕とはどう違うの？

映画館で上映される洋画には字幕がありますが、これは聴覚障がい者にとってどうでしょうか？確かに英語のセリフが日本語で表示される洋画の字幕は、聴覚障がい者も見て楽しむことができます。その一方で、ドアをノックする音や電話の呼び出し音なども映画では重要な役割を果たしますが、洋画の字幕では表示されません。これらの音も文字で説明する聴覚障がい者用字幕は、聞こえない人に配慮したもののなのです。

テレビ番組や長野県聴覚障がい者情報センターで制作・貸出しているDVDの字幕は、すべて聴覚障がい者用字幕です。



音の説明がないので状況がわからない



説明があるので状況がわかる

字幕ボランティアおこじょ 活躍しています

聴覚障がい者情報センターの映像事業に協力いただいているのが字幕ボランティアおこじょです。メンバーは10名ほどで、テレビ番組や県関係の映像、学校教材などの字幕制作をしています。

字幕を作るには聞こえてくるセリフを書き出し、字幕用に文章を整えて映像に合うように入力していきます。特に音起こしの作業は時間がかかり、何度も巻き戻して繰り返し聞きます。たいへん根気のいる作業です。なんと知っているのかわからなくて何度も聞いたり、表記の仕方を調べたりします。一般的なことばだけではなく、専門用語やその分野だけで使われることばもあり、時には制作元に聞いて確認しています。例えば「そば」を「蕎麦」や「ソバ」と表記することがありますが、元の映像に合わせて使い分けています。そのほうがより見やすく読みやすい字幕になるからです。



テロップと重なって字幕が読みにくいです



テロップと重ならないように字幕の位置を工夫しています

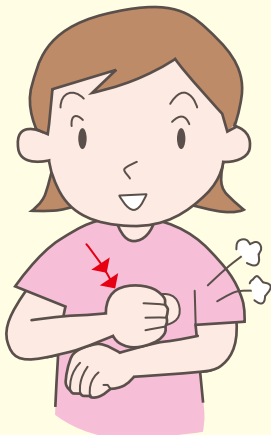
映像と字幕を合わせるときにも注意が必要です。最近はテロップが多くつかわれているため、テロップと重ならないように、時にはテロップを生かして字幕を入れることもあります。

字幕制作の基準はありますが、場面ごとに状況を見て判断することが必要です。

なかなか字幕制作の様子を直接見る機会は少ないと思いますが、様々な工夫をしながら制作しています。

◆使ってみよう ひとつと手話

「お疲れ様（大変・苦労）」



片腕を横にして出し、手首とひじの間の辺を、もう一方の手の握りこぶしでトントンと2回たたきます。

「お疲れ様」というあいさつの表現としてよく使う手話ですが、会話の中では「大変だ」、「苦労する」という意味にも使います。大きくたたくと、苦労の度合いが大きい「とても大変」という意味になります。

目上の方に対して使う時は、少し上体をかがめ、上目使いにして表すと「お疲れ様です」という丁寧な表現になります。